

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
基本目標1 スポーツ機会の創出、スポーツによる健康増進				
1-(1) スポーツに気軽に取り組む機会の充実				
①気軽に参加できるスポーツや健康づくりの奨励	健康体操教室	人権ふれあいセンターで市内在住の方を対象に、同世代の交流及び健康増進を図る。	教室名 「健康体操教室」 開催日 6月から3月までの第1・3水曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 市内在住の方を対象に、同世代の交流及び健康増進を図った。 参加者 314名	人権推進課
	午後の体操	本郷憩の家で火曜日、木曜日、土曜日午後2時に開催する。 新居屋憩の家で月曜日から金曜日午後1時50分から2時に開催している。	・本郷の家では、火曜日、木曜日、土曜日午前10時半、午後2時に開催した。 ・新居屋憩の家で月曜日から金曜日午後1時50分から2時にテレビで放送しているリズム体操やラジオ体操を行うことができた。	子ども福祉課
	トレーニングルーム開設	トレーニングルームの開設により、1人でも参加しやすい環境を提供する。	美和公民館、甚目寺総合体育館において、トレーニング室にインストラクターを配置し、スポーツ活動、健康・体力づくりに関連する運動・生活指導・生活習慣病予防指導及び栄養指導を行った。	スポーツ課 生涯学習課
	市民走ろう・歩こう会	世代を超えた交流及び健康増進を目的に木曾三川公園で、気軽に楽しめるジョギング（2km・4km・10km）とウォーキング（2km・4km）を実施する。	105名（七宝44名、甚目寺42名、美和19名）の参加申し込みがあり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供する予定であったが、当日、天候不良により中止となった。	スポーツ課
	市民歩け歩け会	同世代の交流及び健康増進を目的に県外のウォーキングコースで先着120名を対象に市民歩け歩け会を開催する。	116名（七宝34名、甚目寺41名、美和41名）の参加申し込みがあり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。 当日の参加者116名	スポーツ課
	市民ラジオ体操の集い	世代を超えた交流や健康増進、さらに正しいラジオ体操の普及を目的に市民ラジオ体操の集いを実施する。	527名（七宝377名、甚目寺150名、美和中止）の参加があり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。美和地区（美和中学校）は、雨天のため中止となった。	スポーツ課
	肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	肩こり・腰痛ケアストレッチ教室（スポーツ教室）で、定員30名を対象に家庭でもできるストレッチを行い、健康な身体づくりおこなう。	受講者30名に対し、正しい姿勢や体幹を鍛える方法を指導することにより、参加者の健康や体力を維持、向上させることができた。	スポーツ課
	誰でもできる みんなのスポーツ教室	様々な障がい者スポーツを身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	受講者7名に対し、モルックなどのインクルーシブスポーツ（誰でも、いつでも、どこでもできるスポーツ）を体験し、健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。	スポーツ課
	市民スポーツ大会	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	スポーツ課
②ライフステージに応じたスポーツ、リクリエーションの実施	音楽レクリエーション	新居屋憩の家で季節の歌を歌ったり、楽器の演奏を年3回午後1時から実施する。	音楽に合わせた健康づくりを行うことができた。	子ども福祉課
	生涯学習講座	シルバーカレッジ、小学生親子ふれあい講座、幼児期家庭教育講座など、ライフステージに応じた講座を開催する。	シルバーカレッジ、小学生親子ふれあい講座、幼児期家庭教育講座など、ライフステージに応じた講座を開催することができた。	生涯学習課
	にんにん忍者あそびフェスタ	忍者の歩き、すわる、はしる、うごく、しのびの術、すいとん、つなわたり、なわぬけ等の体験を実施する。	令和8年3月20日（金）美和公民館で開催予定。忍者の動きをモチーフにした身体の動かし方を楽しく体験してもらうことで身体を動かす楽しさを体験してもらう予定。	あま市レクリエーション指導者クラブ（スポーツ課）
	あまあそびフェスタ	輪投げ、ラダーゲッター、モルックなどを体験する	今年は、第79回全国レクリエーション大会 in 愛知として11月1日（土）あま市七宝焼アートヴィレッジで開催した。昨年から取り入れたモルックを中心に輪投げ、皿回し木工クラフト、紙飛行機、けん玉、だるま落とし等をおこない参加者の健康及び体力や考える力の向上に繋げた。 （あそびフェスタ参加者 260名）	あま市レクリエーション指導者クラブ（スポーツ課）

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
③地域団体のスポーツ活動の支援	スポーツ施設使用料金の減免	自治会などが行うスポーツ活動の場を支援することを目的に全額減免で施設を貸し出し支援する。	自治会の活動（グラウンドゴルフ大会等）に対し、全額免除で施設（七宝グラウンド等）を貸し出した。	スポーツ課
④運動・スポーツによる生活習慣の改善	特定保健指導対象者への啓発	特定保健指導等により、運動を含めた生活習慣の見直しを促す。	特定保健指導を51人に実施し、運動を含めた生活習慣の見直しを促した。 (1月1日現在)	保険医療課
	いきいき体操	いきいき体操（成人保健事業）で、運動習慣を身につけるためのストレッチ運動・体操を実施する。	いきいき体操（成人保健事業）で、運動習慣を身につけるためのストレッチ運動・体操を実施した。 (114回 1,113 人)	健康推進課
	ウォーキングあま	ウォーキングあま（成人保健事業）で市内のさまざまなコースをウォーキングし、生活習慣病の予防や心の健康づくりに寄与する。	ウォーキングあま（成人保健事業）で市内のさまざまなコースをウォーキングし、生活習慣病の予防や心の健康づくりに寄与できた。 (5回 98人)	健康推進課
	運動動画配信	各種体操や運動、ストレッチ動画の周知啓発を行う。	乳幼児健診、がん検診待ち合い、市民課窓口のタブレットにて運動動画を配信している。マイルージのチラシに運動動画ページのQRコードを掲載した。市公式Instagram、子育てアプリでも動画配信記事を掲載。職域推進事業にて、企業向けに運動動画紹介のチラシを提供した。	健康推進課
	あま健康マイレージ事業（アプリ版）	あま健康マイレージアプリ内における「リアルウォーク機能」を利用し、市内のウォーキングコースを歩くことで健康増進を図る。	あま健康マイレージアプリ内における「リアルウォーク機能」を利用し、市内のウォーキングコースを歩くことで健康増進を図った。	健康推進課
	ワクワクからだ教室	ワクワクからだ教室（成人保健事業）において、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施する。	ワクワクからだ教室（成人保健事業）において、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施した。(27回 566人)	健康推進課
	ボクシングエクササイズ教室	女性に人気のあるボクシングエクササイズ教室（スポーツ教室）を開催し、定員30名を対象に生活習慣病の予防や心の健康づくりを図る。	受講者33名に対し、基本的なストレッチやシャドーボクシングのフォームを習得することにより、参加者の健康や体力を維持、向上させることができた。	スポーツ課
あまスポーツクラブ事業	シニアバランスボール教室を始め22の年間講座や各種スポーツ教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深める。	各講座月2回程度の開催。合計約405名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）	
⑤運動・スポーツ無関心層への啓発	出前講座	市民の要望に応じて、メニュー（講座）を実施する。	58回開催3,039名の市民の方に参加いただいた。「ずっと We Love あま！体操」「認知症予防講座」「転ばぬ先のロコモ予防」等々を実施し、身近な問題について実技等を用いてわかりやすく説明してもらえてよかった、楽しく受講できた、また参加したい等の感想・意見が多数あった。	人事秘書課
	市民まつり（あまつり） 市民活動祭（あまのわ）	あまつり及びあまのわに参加する団体の出展については、スポーツ啓発の分野を含め広く募集している。 スポーツ関係の出展の場合、一般募集のブース以外でスペースを確保し参加いただいた事例がある。	あまつり 出展としては、スポーツ課による啓発、あまスポーツクラブによるモルック等の体験ブースがあった。 あまのわ 出展としては、あまスポーツクラブによるモルックの体験ブースがあった。	企画政策課
	市民応援事業	市役所や体育館などに全国大会等に出場する地元ゆかりの選手の懸垂幕、横断幕、のぼり旗等を設置して、まち全体で応援する。	ジョージアで開催したフェンシング世界選手権において、あま市出身の加納虹輝選手がエペ個人/団体で金メダルを獲得し、この功績を称え、各体育館に懸垂幕を掲出。またプロ野球ドラフト会議において、当市出身の成瀬 脩人選手(NTT西日本所属)が横浜DeNAベイスターズから5位指名を受け、あま市初のプロ野球選手誕生を祝し、各体育館に懸垂幕を掲出した。	スポーツ課
	市民スポーツ大会 【再掲（1-1(1)①）】	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	スポーツ課
	誰でもできる みんなのスポーツ教室 【再掲（1-1(1)①）】	様々な障がい者スポーツを身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	受講者7名に対し、モルックなどのインクルーシブスポーツ（誰でも、いつでも、どこでもできるスポーツ）を体験し、健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
⑥スポーツにふれる機会の提供	走り方講座及びかけっこ教室	正しい走り方を学ぶことにより、走力を向上させ運動習慣を身につけ、運動能力を伸ばすには最適であるため開催する。	4月19日（土）と29日（土）午後7時から8時に七宝北中学校のグラウンドで開催した。「かけっこ教室」小学校1年生から3年生は、走り方の基本を身に付けるための腕振り、スライド、ピッチ等を行い、「走り方教室」小学校4年生から6年生は、走り方の基本を学び、効率よくもっと早く走ることを中心に行った。参加人数：かけっこ教室 30人 走り方教室 30人	あまスポーツクラブ （スポーツ課）
	スポーツ観戦事業	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、スポーツ観戦イベントを開催する。	プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力のもと、令和7年12月14日（日）開催の同クラブシーズンマッチ・ホームゲームへ市民100名を無料招待（抽選）した。	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
1-(2) 働く世代や親と子が楽しむスポーツの充実				
①働く世代向けのスポーツ教室等の開催	やさしいヨガ	心と身体のバランスを整え、心身不調改善を目的に実施する。	心と身体のバランスを整え、心身不調改善を目的に実施することができた。	美和文化会館 (生涯学習課)
	アロマヨガ	アロマ効果でリラックスすることを目的に実施する。	アロマ効果でリラックスすることを目的に実施することができた。	美和文化会館 (生涯学習課)
	バランスボールエクササイズ	音楽に合わせて、ボールを使って手足を動かすことを目的に実施する。	音楽に合わせて、ボールを使って手足を動かすことを目的に実施することができた。	美和文化会館 (生涯学習課)
	あまスポーツクラブ事業 【再掲（1-(1)-④）】	シニアバランスボール教室を始め22の年間講座や各種スポーツ教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深める。	各講座月2回程度の開催。合計約405名以上の参加者があり、健康や体力の維持及び向上を図ることができた。	あまスポーツクラブ (スポーツ課)
②職場のスポーツ・健康まちづくり活動の推進	初心者向け筋力アップトレーニング講習	職員等にトレーニング室を適切に利用してもらう為、掲示板、LINE、きずなネット等で周知する。（年間33回）	七宝総合体育館において、トレーニング器具の正しい使い方を理解し、筋力アップや持久力を向上させ、健康増進、運動習慣の定着を図ることが出来た。 (参加人数 51人)	スポーツ課
③子育て世代向けスポーツ教室等の開催	児童館事業	児童館事業のちびっこあつまれ（運動あそび、音楽あそび、工作あそび、たのしくリズム、つくってあそび、みんなげんきっこ、ちびっこ夏まつり）、コアラ教室を実施し、親子の交流を図っている。	・ちびっこあつまれの運動遊びでは、家庭にはない遊具を提供し、体全体を使っての運動遊びができた。 ・音楽あそびでは、その月の季節に合った歌を手遊びしながら歌い、曲を流し色々な楽器を使って音楽のリズムを感じて、からだでリズムを取り遊ぶことができた。 ・ちびっこまつりでは、集中力・バランス能力の向上などを目的とした遊びを設定し達成感や次への自信に繋がる4つのコーナーを提供し、楽しい時間を過ごせた。 ・コアラ教室では、子どもの発達段階に合わせて、今できる事を基本として、常に今よりの上を目指して行事内容を考えた。それができた時の達成感や喜びを、親子と職員が共に感じあえた。 ・乳幼児親子を対象とした運動遊びなど、親子で楽しく身体を動かす教室を開催した。	子ども福祉課
	子育て支援センター事業	未就学児を中心に地域全体で子育て家庭を支援するため、赤ちゃんとおそぼう、わらべうたあそび、わくわく広場、にこにこ広場等を開催している。	ほぼ毎月のように実施しており1月現在までに、赤ちゃんとおそぼう621人、わらべうたあそび335人、ほんわか広場391人、にこにこ広場309人、わくわく広場389人の参加人数があった。それ以外にも、親子のふれあいや交流を目的に音楽あそび、バランスボール、風船遊び、リトミックあそび、を不定期にて実施。参加人数は、音楽あそび99人、バランスボール56人、風船あそび67人、リトミックあそび83人、親子でリズムトレーニング46人であった。	保育課
	つどいの広場事業	乳幼児を中心に地域全体で子育て家庭を支援するため、ふれあい広場等を開催している。	ふれあい広場はほぼ毎月実施しており、1月現在までに、133人の参加人数があった。その他不定期開催で行事を実施し、にこにこベビーデー127人、わらべうたあそび57人、風船あそび35人、親子リズム体操あそび49人、親子でリトミック27人の参加人数があった。	保育課
	親子で遊ぼう！歯っぴい教室	8～11か月児対象の親子で遊ぼう！歯っぴい教室の中で、乳児と保護者が触れ合い、親子で体を動かすことで、健康増進を図る。	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくることができた。	健康推進課
	幼児期家庭教育講座	子育て世代向けの講座を開催する。また託児付きの講座を開催することで、子育て世代が参加しやすい講座を開催する。	子育て世代向けの講座を開催する。また託児付きの講座を開催することで、子育て世代が参加しやすい講座を開催することができた。	生涯学習課
	ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール	ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール（公民館講座）で、バランスボールを使い、室内で気軽に有酸素運動を行う。【託児有】	ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール（公民館講座）で、バランスボールを使い、室内で気軽に有酸素運動を行うことができた。	生涯学習課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
1-(3) 子どもがスポーツを楽しむ機会・場の充実				
①地域における運動・スポーツの推進	スポーツ開放	小学生の活動の場を広げるため、放課後や土日祝日に学校施設をスポーツ団体等に開放する。	スポーツ少年団・協会を始めとする団体に、問題等なく学校施設を開放することができた。	スポーツ課
	学校プール開放事業	小中学生を対象としてプール開放事業を実施し、水に親しむ機会を増やすとともに、児童生徒の体力向上及び健康増進を図る。	夏休み初日から約2週間開催。2,725名の児童生徒が参加し、体力向上及び健康増進を図ることができた。（令和6年参加者 2,552名）	スポーツ課
	あまスポーツクラブ事業【再掲（1-1)-④】	シニアバランスボール教室を始め22の年間講座や各種スポーツ教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深める。	各講座月2回程度の開催。週合計約405名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
②幼児期からの運動あそび・レクリエーションの推進	放課後子ども教室運営事業	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくる。	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくることができた。	生涯学習課
	児童館事業	各児童館で小学生を対象にシュートにチャレンジ、わくわくゲーム遊び、なわとびをしよう、ボウリングをしよう、けん玉で遊ぼう、正月遊びをしよう、ドッジビーをしよう、レクリエーション・ダンスをしよう、ミニ運動会、児童館まつり、みんなで体操を開催する。	・なわとび、けん玉、フラフープ、スキップジャンプは、いつでも遊べるように設置してある遊びと、行事として行う遊びがあり、レクリエーションなどは講師を招いて大人数で協力し合い、他学年との交流遊びにも繋がった。 ・小学生を対象に体を動かすゲームや遊びを実施し楽しく体を動かす行事を開催した。 ・今年は小学生の来館者が増え、行事の日は楽しみに参加をしてくれている。それぞれの用具の正しい使い方、人数が多い時等怪我につながらないため守るべきルールをしっかりと伝え、行事以外で来館した時にも高学年が中心となり、厚生員も見守りながら楽しく体を動かすことが出来ている。	子ども福祉課
	ちびっこあつまれ	運動あそび、音楽あそび、工作あそび、たのしくリズム、つくってあそぼ、みんなげんきっこ、ちびっこ夏まつりを開催する。	・運動、音楽、工作のそれぞれの遊びの目的に応じて、ねらいを元に内容計画を立て、親子のコミュニケーションの場にもなり、母親同士の情報交換の場にもなった。 ・運動あそび、音楽あそび、工作あそび、ちびっこ夏まつりを実施し親子で楽しく身体を動かす行事を開催した。 ・毎月季節の行事に触れたり、色々な動きに挑戦できるよう違う内容のもので計画しているが、運動遊びでは好きなものは繰り返し行うなど子どもの姿に合わせて活動を行った。	子ども福祉課
	小学生夏休みスポーツ教室	夏休みに小学生を対象とした、フットサル教室（定員20名）やドッジボール教室（定員40名）などのスポーツ教室を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じることで、運動の日常化を目指す。	小学生夏休みスポーツ教室のフットサルやドッジボール等を通じ、児童の健康や体力の維持、向上を図ることができた。フットサル教室（七宝総合体育館）30名、ドッジボール教室70名（基目寺総合体育館40名、美和公民館30名）。	スポーツ課
	あまスポーツクラブ事業【再掲（1-1)-④】	シニアバランスボール教室を始め22の年間講座や各種スポーツ教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深める。	各講座月2回程度の開催。週合計約405名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
③スポーツ少年団によるスポーツの推進	スポーツ少年団補助金	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与することを目的に活動するスポーツ少年団に補助金を交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援する。	19団体に135万円を補助金として交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援した。	スポーツ課
④スポーツへの関心を高める機会の提供	スポーツ観戦事業【再掲（1-1)-⑥】	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、スポーツ観戦イベントを開催する。	プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力のもと、令和7年12月14日（日）開催の同クラブシーズンマッチ・ホームゲームへ市民100名を無料招待（抽選）した。	スポーツ課
⑤スポーツ体験会の実施	スポーツ少年団本部交流会	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和8年1月31日（土）七宝総合体育館にて開催した。 235名の児童が参加し、とても盛況だった。	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
1-(4) 高齢者向けスポーツ、健康づくり活動の推進				
①高齢者向けの運動・スポーツの普及推進	高齢者健康体操教室	甚目寺老人福祉センターで高齢者の活動の場を提供し、長寿社会の実現に向けて事業展開を図る。	教室名 「高齢者健康体操教室」 開催日 6月から3月までの第1・2木曜日 場 所 甚目寺老人福祉センター 内 容 市内在住の高齢者の方を対象に、同世代の交流及び健康増進を図った。 参加者 232名	人権推進課
	健康ウォーキング「ウォーキングあま」 【再掲（1-(1)-④）】	市内のさまざまなコースをウォーキングし、生活習慣病の予防や心の健康づくりに寄与する。	生活習慣病の予防や心の健康づくりのために、ウォーキングあまを実施し、市内のさまざまなコースをウォーキングした。 （5回 98人）	健康推進課
	ワクワクからだ教室 【再掲（1-(1)-④）】	ワクワクからだ教室（成人保健事業）において、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施する。	ワクワクからだ教室（成人保健事業）において、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施した。 （27回 566人）	健康推進課
	フレイル予防の周知啓発	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、フレイル予防の周知啓発を行う。	健康状態不明者1件、身体フレイル該当者10件への訪問を実施。通いの場等におけるフレイル予防の周知啓発を11か所18回のべ719人に対して行った。（1月1日現在）	保険医療課
	市民ラジオ体操の集い 【再掲（1-(1)-①）】	世代を超えた交流や健康増進、さらに正しいラジオ体操の普及を目的に市民ラジオ体操の集いを実施する。	527名（七宝377名、甚目寺150名、美和中止）の参加があり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。美和地区（美和中学校）は、雨天のため中止。	スポーツ課
	介護予防教室	介護予防のための運動教室を実施し、高齢者の運動機会の増加を図る。	はつらつクラブを54回開催し958人の参加。	高齢福祉課
	認知症予防講座	身体と頭を使い、楽しみながら認知症予防に取り組むことができる運動等を実施する。	6回開催し161人の参加。	高齢福祉課
	継続的に取り組める運動の普及・啓発	高齢者が家でも気軽に取り組むことができる運動のリーフレットを出前講座等で配布する。 介護予防リーダーを育成する。	認知症予防講座、介護と保健の一体的事業のハイリスク訪問にて配布。介護予防リーダーを18人育成。	高齢福祉課
	はつらつ健康教室～シニア運動教室～	はつらつ健康教室～シニア運動教室～（スポーツ教室）を開催し、自らの体力・健康状態を自覚することで、自発的な介護予防を行う。	定員を超える応募があり、とても盛況でした。応募者全員が自らの体力・健康状態を自覚することで、自発的な介護予防を行った。（参加者15名）	スポーツ課
シニアバランスボール教室	シニアバランスボール教室（あまスポーツクラブ事業）を開催し、身近な素材を利用して健康維持・介護予防を行なう。	バランスボールを通して高齢者に体を動かす機会を提供した。（参加者10名）	あまスポーツクラブ（スポーツ課）	
②高齢者の健康と生きがいづくりの推進	転倒骨折予防事業	人権ふれあいセンターで筋力アップ体操教室を開催し、高齢者の健康づくりに寄与する。	教室名 「筋力アップ体操教室」 開催日 毎月第4木曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催した。 参加者 55名	人権推進課
	カラオケ体操	本郷憩の家で火曜日・木曜日・土曜日午後2時に開催する。 新居屋憩の家で毎日午前11時に開催する。 森憩の家で月曜日、水曜日、金曜日14時に開催する。	・森憩の家では、定期的にカラオケ体操を行い、高齢者の健康づくり活動を推進することができた。 ・新居屋憩の家では、月曜～土曜に設定をし、活動を推進することができた。	子ども福祉課
	モリ森体操	森憩の家で毎月第3金曜日午前10時から開催する。	森憩の家では、筋力アップを目的とした「モリ森体操」で高齢者の健康づくり活動を推進することができた。	子ども福祉課
	シルバーカレッジ事業	シルバーカレッジの講座に体を動かす講座を取り入れ、同世代の交流、健康維持を図る。	シルバーカレッジの講座に体を動かす講座を取り入れ、同世代の交流、健康維持を図ることができた。	生涯学習課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
1-(5) 競技力・意欲向上につながる機会の充実				
①市民スポーツ大会・イベントの開催・充実	市町村対抗駅伝	愛知県市町村対抗駅伝競走大会に参加し、市としての一体感の醸成、市民のスポーツ振興を図る。	監督（1名）・コーチ（1名）・選手（18名）が、約3カ月間、同じ目標に向かって練習を重ねることで、市としての一体感の醸成、市民のスポーツ振興を図ることができた。（市部門 29位）	スポーツ課
	市民スポーツ大会 【再掲（1-(1)-①）】	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	スポーツ課
	スポーツ少年団本部交流会 【再掲（1-(3)-⑤）】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和8年1月31日（土）七宝総合体育館にて開催した。 235名の児童が参加し、とても盛況だった。	スポーツ課
②地域ぐるみでアスリートを支える仕組みづくり	市民栄誉賞	市民または市に特別ゆかりの深い者で、スポーツその他の分野において輝かしい功績があった者に対して市民栄誉賞を授与する。	令和7年度においては、表彰対象となる該当者はなかった。	人事秘書課
	教育、文化、スポーツ関係全国大会等 出場報奨金	競技力・意欲向上を目的に全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	令和7年12月31日時点での交付実績 ・全国大会(個人)：27件（135,000円） ・全国大会(団体)：該当なし ・国際大会(個人)：2件（40,000円） ・国際大会(団体)：該当なし ・世界大会(個人)：該当なし ・世界大会(団体)：該当なし	スポーツ課
	スポーツ顕彰	オリンピック・パラリンピック等、国際的なスポーツ競技大会において、優れた成績を収めた方にスポーツ顕彰において栄誉大賞、栄誉賞、功労賞を授与し、スポーツの振興とふるさと意識の高揚を図る。	・あま市スポーツ栄誉大賞 受賞者：加納 虹輝 選手（日本航空株式会社所属） 功 績：2025フェンシング世界選手権大会フェンシング男子エペ個人及び団体金メダル 受賞者：松岡 星空 選手（日本ガイシ株式会社所属） 功 績：Cruyff Foundation Junior Masters車いすテニス 女子シングル1位 ・あま市スポーツ功労賞 受賞者：武藤 弘樹 選手（トヨタ自動車株式会社所属） 功 績：2025 GYEVANG OPEN アーチェリーリカーブ男 出場（決勝トーナメント9位）	スポーツ課
基本目標2 スポーツによるまちづくり				
2-(1) スポーツを通じたまちのにぎわいとコミュニティづくり				
①まちの賑わいを創出するスポーツイベントの開催・誘致	スマートフェンシング体験会	本市出身で、パリ2024オリンピック競技大会金メダリストの加納虹輝選手の活躍を称え、スポーツをより身近に感じてもらえるよう、スマートフェンシング体験会（JALアスリートアカデミー）を開催する。体験会では、加納虹輝選手に参加していただき、デモンストレーションや子どもたちへの指導、トークショー等を実施する。	令和7年9月7日（日）、甚目寺総合体育館において開催し、市内小学1年生～6年生86名が参加。特別講師として加納虹輝選手が登場し、子どもたちへの指導や加納選手への質問コーナーなどを実施した。	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
②異業種・異分野の企業や団体と連携したスポーツイベントの実施	あま健康マイレージ事業（一般）	スポーツに限定することなく、健康マイレージ事業を推進する。	健康づくりのきっかけとして、6月から12月までの期間、あま健康マイレージを実施した。（応募者数1,451人）	健康推進課
	市の知名度向上	スポーツイベントを活用して観光、特産品等をPRし、市の知名度向上を推進する。	5月11日、6月8日に市内で実施された「市民ラジオ体操の集い」において観光PRを実施。（5月25日雨天中止） 9月7日スマートフェンシング体験会において観光PRを実施。 12月6日に実施された愛知駅伝と同時開催された「あいちふるさと市」（長久手市）において観光PRを実施。 12月14日に名古屋市（枇杷島スポーツセンター）で開催されたB1リーグFE名古屋の試合会場において観光PRを実施。	商工観光課
	スポーツ少年団	あま市近郊少年野球大会を市内企業がスポーツ少年団と共催する。県外チームが参加する少年サッカー大会を、企業とスポーツ少年団が連携して開催する。	エイビス旗あま市近郊少年野球大会（七宝グラウンド、七宝鷹居グラウンド）及びYOSHIDA CUP（蜂須賀グラウンド）を開催した。	スポーツ課
③各種メディアを活用した市内外へのスポーツ情報の発信	がんばれあまっ子	地域活性化及び意欲向上を目的に、スポーツ大会で優秀な成績を収めたあま市在学の子の大会結果をYoutubeで発信する。	令和6年度分の全国大会等出場者で、市公式チャンネルへの投稿に賛同していただいた方を対象に、紹介スライドを作成し公開した。	スポーツ課
	広報誌掲載	全国大会等に出場された方が市長を表敬訪問された際に、メディアに周知するとともに広報紙内のカメラルポでPRする。	市長表敬訪問日の2週間前を目安に記者発表を人事秘書課を通じ実施。各訪問者の実績を、広報あま(カメラルポ)に掲載しPRした。	スポーツ課
	横断幕、懸垂幕、のぼり等の設置	市民応援事業として市役所等に横断幕、懸垂幕、のぼりを設置し地元ゆかりの選手や団体を応援する。	ジョージアで開催したフェンシング世界選手権において、あま市出身の加納虹輝選手がエペ個人/団体で金メダルを獲得し、この功績を称え、各体育館に懸垂幕を掲出。またプロ野球ドラフト会議において、当市出身の成瀬 脩人選手(NTT西日本所属)が横浜DeNAベイスターズから5位指名を受け、あま市初のプロ野球選手誕生を祝し、各体育館に懸垂幕を掲出した。	スポーツ課
④スポーツイベントを通じた地域コミュニティの活性化	市民スポーツ大会 【再掲（1-5)-①】	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	スポーツ課
	スポーツ少年団本部交流会 【再掲（1-3)-⑤】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和8年1月31日（土）七宝総合体育館にて開催した。 235名の児童が参加し、とても盛況だった。	スポーツ課
⑤地域ぐるみでアスリートを支え	市民栄誉賞 【再掲（1-5)-②】	市民または市に特別ゆかりの深い者で、スポーツその他の分野において輝かしい功績があった者に対して市民栄誉賞を授与する。	令和7年度においては、表彰対象となる該当者はなかった。	人事秘書課
	教育、文化、スポーツ関係全国大会等出場報奨金 【再掲（1-5)-②】	全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	令和7年12月31日時点での交付実績 ・全国大会(個人)：27件 (135,000円) ・全国大会(団体)：該当なし ・国際大会(個人)：2件 (40,000円) ・国際大会(団体)：該当なし ・世界大会(個人)：該当なし ・世界大会(団体)：該当なし	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
る仕組みづくり	スポーツ顕彰 【再掲（1-5)-②）】	オリンピック・パラリンピック（国際大会を含む）出場選手にスポーツ顕彰において栄誉大賞、栄誉賞、功労賞を授与する。	あま市スポーツ栄誉大賞 ①受賞者：加納 虹輝 選手（日本航空株式会社所属） 功 績：2025フェンシング世界選手権大会フェンシング男子エペ個人及び団体金メダル ②受賞者：松岡 星空 選手（日本ガイシ株式会社所属） 功 績：Cruyff Foundation Junior Masters車いすテニス 女子シングル1位 あま市スポーツ功労賞 ①受賞者：武藤 弘樹 選手（トヨタ自動車株式会社所属） 功 績：2025 GYEYANG OPEN アーチェリーリカーブ男 出場（決勝トーナメント9位）	スポーツ課
2-(2) スポーツ指導者の確保・養成				
①運動・スポーツ指導者の養成・支援	指導者研修会	地域住民のスポーツ活動の活性化・定着化を促進するため、スポーツ少年団、スポーツ協会の合同で指導者研修会を開催する。	令和7年10月11日（土）に、中京大学スポーツ学部トレーナー学科の松本孝朗教授を招き「症例から学ぶ熱中症と身体冷却法」について講演会を行った。（参加者59名）	スポーツ課
	研修会・講習会の案内	国や県のスポーツ少年団、スポーツ協会から案内がある研修会や講習会を市スポーツ少年団やスポーツ協会に加盟している団体に案内し、参加を促す。	国や県のスポーツ少年団、スポーツ協会から案内があった「愛知県スポーツ協会コンプライアンス研修会」、「JSOP公認スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会などの研修会や講習会の案内を市スポーツ少年団やスポーツ協会に情報提供を行い、参加を促した。	スポーツ課
②スポーツ推進委員の活動の充実	スポーツ推進委員事業	スポーツ課が主管となり、市民ラジオ体操の集い、市民体力測定会、市民歩け歩け会・市民走ろう歩こう会、愛知駅伝の運営補助を行う。	いずれの事業についても滞りなく円滑に実施することができた。	スポーツ課
③スポーツを支える人材の確保	「人材バンク」の設立	スポーツ指導者を登録する「人材バンク」を設立し、スポーツを支える人材を確保するとともに、指導を必要としている学校、団体等に対し、指導者情報をわかりやすく提供する。	令和6年5月1日「あいち地域クラブ活動人材バンク」が開設された。市としては、部活動地域移行の方針が決まっておらず、「人材バンク」設立も検討中である。	スポーツ課
2-(3) スポーツボランティアの発掘・育成				
①スポーツに関わるボランティアの発掘・育成推進	ふれあい・いきいきサロン支援事業	ふれあい・いきいきサロン（市内各地区における、高齢者等を対象とした市民ボランティア活動）を促進するため、相談支援、情報提供、情報交換会（年2回）、補助金を交付する。	令和7年度は新たに1か所開設され、現在は市内29か所でサロン活動を行っている。週1回実施しているサロンもでき、参加者が体を動かす機会が増えている。ボランティアスタッフに対しては勉強会と情報交換会を実施しスキルアップに努めている。未開設地域ではサロンのような居場所があるか把握に努め、地域に合わせた担い手の確保と新規開設に向けて事業展開を行う。	社会福祉協議会
2-(4) 総合型地域スポーツクラブの活動強化にかかる支援				
①総合型地域スポーツクラブとの連携による活動強化	総合型地域スポーツクラブ補助金	身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブ「あまスポーツクラブ」に対し補助金を交付する。	450万円を補助金として交付した。	スポーツ課
②市民参画促進のための情報発信	あまスポーツクラブ講座の周知	公共施設、広報誌、市民ラジオ体操の集い等のイベント時において、あまスポーツクラブのチラシを配布し、情報発信を行う。	それぞれのイベント開始前に適切に公共施設にチラシの配布を行った。	スポーツ課
2-(5) スポーツ関係団体との連携・協働の推進				
	スポーツ協会補助金	スポーツ団体の相互の連携促進や育成、市民の体力及び心身の健全な発達に寄与することを目的にあま市スポーツ協会に対して補助金を交付する。	400万円（21団体）を補助金として交付した。	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
①運動・スポーツ関係団体の連携と育成	スポーツ少年団補助金 【再掲（1-(3)-③）】	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与することを目的に活動するスポーツ少年団に補助金を交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援する。	18団体に135万円を補助金として交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援した。	スポーツ課
	スポーツ少年団本部交流会の開催 【再掲（1-(3)-⑤）】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和8年1月31日（土）七宝総合体育館にて開催した。 235名の児童が参加し、とても盛況だった。	スポーツ課
②スポーツ推進連絡会議の創設	スポーツ推進連絡会議の開催	スポーツ関係団体、その他組織・団体等の相互交流と情報交換を行い、協力連携を図り、市のスポーツ施策を効果的かつ効率的に推進するため、あま市スポーツ推進連絡会議を年2回開催する。	令和7年度 第1回を令和7年8月6日（水）に市役所で会議を開催し活発な意見交換や情報提供を行った。また、第2回を令和8年2月4日（水）に予定している。	スポーツ課

基本目標3 スポーツを通じた共生社会の実現

3-(1) インクルーシブスポーツ等の推進

①インクルーシブスポーツを通じた交流促進	インクルーシブスポーツ教室（モルック）	障がいのある方でも参加できるインクルーシブスポーツ（モルック）をあまスポーツクラブが主管となり、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう教室を開催する。	前期6月21日（参加予定者12名）、後期11月15日（参加予定者14名）の2回モルックを楽しんでいただく機会を提供した。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	市民ディスクゴルフ大会	障がいのある方でも参加できるディスクゴルフ大会を地域スポーツ員が主管し、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう開催する。	参加者少数のため中止。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	誰でもできる みんなのスポーツ教室 【再掲（1-(1)①）】	様々な障がい者スポーツを身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	受講者7名に対し、モルックなどのインクルーシブスポーツ（誰でも、いつでも、どこでもできるスポーツ）を体験し、健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。	スポーツ課
②スポーツを通じた共生社会の実現	インクルーシブスポーツ教室（モルック） 【再掲（3-(1)-①）】	障がいのある方でも参加できるインクルーシブスポーツ（モルック）をあまスポーツクラブが主管となり、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう教室を開催する。	前期6月21日（参加予定者12名）、後期11月15日（参加予定者14名）の2回モルックを楽しんでいただく機会を提供しました。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	市民ディスクゴルフ大会 【再掲（3-(1)-①）】	障がいのある方でも参加できるディスクゴルフ大会を地域スポーツ員が主管し、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう開催する。	参加者少数のため中止	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	誰でもできる みんなのスポーツ教室 【再掲（1-(1)①）】	様々な障がい者スポーツを身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	受講者7名に対し、モルックなどのインクルーシブスポーツ（誰でも、いつでも、どこでもできるスポーツ）を体験し、健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。	スポーツ課
③障がいのある人のスポーツへの参加促進	インクルーシブスポーツ教室（モルック） 【再掲（3-(1)-①）】	障がいのある方でも参加できるインクルーシブスポーツ（モルック）をあまスポーツクラブが主管となり、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう教室を開催する。	前期6月21日（参加予定者12名）、後期11月15日（参加予定者14名）の2回モルックを楽しんでいただく機会を提供しました。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	市民ディスクゴルフ大会 【再掲（3-(1)-①）】	障がいのある方でも参加できるディスクゴルフ大会を地域スポーツ員が主管し、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう開催する。	参加者少数のため中止	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	誰でもできる みんなのスポーツ教室 【再掲（1-(1)①）】	様々な障がい者スポーツを身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	受講者7名に対し、モルックなどのインクルーシブスポーツ（誰でも、いつでも、どこでもできるスポーツ）を体験し、健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
④パラスポーツの普及啓発・情報発信	市民応援事業 【再掲（1-(1)-⑤）】	市役所や体育館などに全国大会等に出場する地元ゆかりの選手の懸垂幕、横断幕、のぼり旗等を設置して、まち全体で応援する。	車いすテニスで全国大会に出場した松岡星空選手の市長表敬訪問を実施した。	スポーツ課
基本目標4 利用しやすい施設・情報環境の整備				
4-(1) スポーツ施設の整備・利便性の向上				
①スポーツ施設の整備・改修	児童遊園・ちびっこ広場の維持管理	児童遊園・ちびっこ広場は地区町内会、子ども会または業者に委託し管理をする。	児童遊園・ちびっこ広場の維持管理をし、子どもが利用しやすい施設の維持に努めた。	子ども福祉課
	都市公園の維持管理	都市公園は、シルバー人材センター、子ども会及び業者に委託し、環境等の維持管理をする。	シルバー人材センター、子ども会及び業者に維持管理業務を委託し、安全で快適な公園環境を維持することができた。	都市計画課
	小学校、中学校の学校施設の施設整備	小学校 学校環境整備工事 あま市内7小学校プールろ過装置改修工事 美和東小学校プール槽底面塗装改修工事 中学校 学校環境整備工事 七宝中学校及び甚目寺南中学校プールろ過装置改修工事	令和7年8月にあま市内7小学校プールろ過装置改修工事完了、老朽化した機械設備の改修を実施した。 令和7年8月に美和東小学校プール槽底面塗装改修工事完了、剥離した塗装の改修を実施した。 令和7年6月に七宝中学校及び甚目寺南中学校プールろ過装置改修工事完了、老朽化した機械設備の改修を実施した。	教育総務課
	施設管理費（体育館・体育施設）	総合体育館、グラウンド及びゲートボール場等の社会体育施設の施設整備を行なう。また、七宝プール解体整備工事を実施する。	緊急性・危険性が高いものを優先に、計画的に施設整備を進めることができた。	スポーツ課
	部活動地域展開・地域連携推進事業	休日部活動を実施するにあたり、使用する施設のセキュリティ整備等に向けた検討をおこなう。	令和7年度については、部活動指導員の配置を行うことができたが、部活動指導員に部活動に係る全ての業務を担ってもらうまでは至っていないため、検討段階のままとなっている。	スポーツ課 教育総務課 学校教育課
②スポーツ人口を増加させる既存施設の有効活用	既存施設の有効活用	スポーツ人口を増加させるため、既存施設の有効活用を図る。	七宝・甚目寺総合体育館などの開放について、課題・問題点を整理した。引き続き、施設の有効活用について検討を行う。	スポーツ課
③スポーツ施設の利用基準の緩和	スポーツ施設の開放基準	市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、利便性の向上を目指す。	甚目寺テニスコートについて、クレーコートから人工芝コートへの改修に伴い利用日を平日及び土曜日の日中も利用できるように拡大し、3面単位を1面単位での貸し出しとし、利用時間を3時間から2時間とした。	スポーツ課
4-(2) 学校体育施設を活用した地域スポーツの場の確保				
①学校体育施設の有効活用	スポーツ開放 【再掲（1-(3)-①）】	小学生の活動の場を広げるため、放課後や土日祝日に学校施設をスポーツ団体等に開放する。	スポーツ少年団・協会を始めとする団体に、問題等なく学校施設を開放することができた。	スポーツ課
	学校プール開放事業 【再掲 1-(3)-①】	小中学生を対象としてプール開放事業を実施し、水に親しむ機会を増やすとともに、児童生徒の体力向上及び健康増進を図る。	夏休み初日から約2週間開催。2,725名の児童生徒が参加し、体力向上及び健康増進を図ることができた。（令和6年参加者 2,552名）	スポーツ課
	施設整備費（小学校・中学校） 【再掲（4-(1)-①）】	市内小中学校の学校開放施設の施設整備を行なう。また、宝小学校夜間照明管理棟解体工事を実施する。	シルバーカレッジ、小学生親子ふれあい講座、幼児期家庭教育講座など、ライフステージに応じた講座を開催することができた。	スポーツ課
	部活動地域展開・地域連携推進事業	休日部活動を実施するにあたり、優先的な施設利用及び減免に向けた検討をおこなう。	令和7年度については、地域クラブによる部活動の実施まで至っていないため、まだ検討段階のままとなっている。	スポーツ課 教育総務課 学校教育課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
4-(3) わかりやすいスポーツ情報の提供				
①市民への効果的な情報発信と内容の充実	広報あま、市公式ホームページ、公式LINE、きずなネット	広報あま、市公式ホームページ、公式LINE、きずなネット等のツールを活用し、市民へ情報発信をする。	各種イベント情報や、市ゆかりのアスリートに関する情報を発信した。	スポーツ課
②民間スポーツクラブ等に関する情報発信	ポスター掲示	スポーツイベントやスポーツ教室、団体への団員募集のポスターを七宝・甚目寺総合体育館内に掲示し、市民に対してスポーツの情報発信を行う。	スポーツイベントやスポーツ教室、クラブ員募集のポスターを七宝・甚目寺総合体育館内に掲示し、市民に対してスポーツの情報発信を行った。	スポーツ課
③スポーツ協会・スポーツ少年団等に関する情報発信の強化	スポーツ少年団、スポーツ協会合同ホームページ	スポーツの機会を創出することを目的にスポーツ少年団、スポーツ協会の合同でホームページを作成し、掲載し、定期的にスポーツ活動を行う意欲のある市民に対し周知する。	スポーツ少年団、スポーツ協会合同のホームページを活用し、定期的にスポーツ活動の情報提供を行い、意欲のある市民に対し周知した。	スポーツ課
基本目標5 スポーツ好きなあまっ子を育む				
5-(1) スポーツとの出会いの場の充実				
①地域における運動・スポーツの推進	あまスポーツクラブ事業【再掲 1-(1)-④】	シニアバランスボール教室を始め22の年間講座や各種スポーツ教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深める。	各講座月2回程度の開催。合計約405名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	あまスポーツクラブ（スポーツ課）
	あま健康マイレージ事業（小中学生）	小中学生を対象に健康マイレージ事業を実施する。	健康づくりのきっかけとして、6月から9月までの期間、あま健康マイレージを実施した。（応募者数11,052人）	健康推進課
②幼児期からの運動あそび・レクリエーションの推進	放課後子ども教室運営事業【再掲(1-(3)-②)】	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の体育館を活用し、地域の大人の参画を得て学習指導、文化活動及びスポーツ等を行うことで、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくる。	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の体育館を活用し、地域の大人の参画を得て学習指導、文化活動及びスポーツ等を行うことで、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくることができた。	生涯学習課
	児童館事業【再掲 (1-(3)-②)】	各児童館で小学生を対象にシュートにチャレンジ、わくわくゲーム遊び、なわとびをしよう、ポウリングをしよう、けん玉で遊ぼう、正月遊びをしよう、ドッジビーをしよう、レクリエーション・ダンスをしよう、ミニ運動会、児童館まつり、みんなで体操を開催する。 運動あそび、音楽あそび、工作あそび、たのしくリズム、つくってあそび、みんなげんきっこ、ちびっこ夏まつりを開催する。	・なわとび、けん玉、フラフープ、スキップジャンプは、いつでも遊べるように設置してある遊びと、行事として行う遊びがあり、レクリエーションなどは講師を招いて大人数で協力し合い、他学年との交流遊びにも繋がった。 ・小学生を対象に体を動かすゲームや遊びを実施し楽しく体を動かす行事を開催した。 ・今年は小学生の来館者が増え、行事の日は楽しみに参加をしてくれている。それぞれの用具の正しい使い方、人数が多い時等怪我につながらないため守るべきルールをしっかりと伝え、行事以外で来館した時にも高学年が中心となり、厚生員も見守りながら楽しく体を動かすことが出来ている。 ・児童館まつり、豆まき会を開催した。	子ども福祉課
	小学生夏休みスポーツ教室【再掲 (1-(3)-②)】	夏休みに小学生を対象とした、フットサル教室（定員30名）やドッジボール教室（定員40名）などのスポーツ教室を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じることで、運動の日常化を目指す。	小学生夏休みスポーツ教室のフットサルやドッジボール等を通じて、児童の健康や体力の維持、向上を図ることができた。フットサル教室（七宝総合体育館）30名、ドッジボール教室70名（甚目寺総合体育館40名、美和公民館30名）	スポーツ課
③スポーツ少年団を中心としたスポーツの推進	スポーツ少年団補助金【再掲 (1-(3)-③)】	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与することを目的に活動するスポーツ少年団に補助金を交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援する。	18団体に135万円を補助金として交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援した。	スポーツ課
④スポーツ体験会の実施	スポーツ少年団本部交流会の開催【再掲 (1-(3)-⑤)】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和8年1月31日（土）七宝総合体育館にて開催した。 235名の児童が参加し、とても盛況だった。	スポーツ課
5-(2) 学校との連携によるスポーツ活動の支援				

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
①運動クラブや運動部活動の支援	スポーツ少年団本部交流会の開催 【再掲（1-(3)-(5)）】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和8年1月31日（土）七宝総合体育館にて開催した。 235名の児童が参加し、とても盛況だった。	スポーツ課
	部活動地域連携推進事業	国が示す、部活動における地域・地域連携における情報提供。また学校部活動の支援を図るため人材バンクの設立。	部活動地域展開に向けた市の実施スケジュールについて、学校を通じて関係児童生徒及びその保護者に向けた情報提供を行った。	スポーツ課 学校教育課
②運動部活動の在り方の検討	部活動地域連携推進事業	令和7年度より、部活動地域連携の実証事業として、市内2中学校へ部活動指導員の配置を行い、検証を行っており、「あま市小中学校あり方課題別検討委員会（部活動改革）」にて、あま市における休日部活動の地域展開移行・地域連携についての方向性を検討していく。	シルバーカレッジ、小学生親子ふれあい講座、幼児期家庭教育講座など、ライフステージに応じた講座を開催することができた。	学校教育課
5-(3) 競技スポーツとのふれあい				
①トップアスリート育成のための支援	スポーツ講習会	トップアスリートや指導者などを招聘し、スポーツ講習会を開催し、高いレベルで活躍することを目的とすることを目指す子どもがトップレベルの技術に触れる機会を提供する。	・あま市スポーツ協会・あま市スポーツ少年団本部研修会 令和7年10月11日（土）に、スポーツ協会、スポーツ少年団、NPO法人あまスポーツクラブ加盟の総勢59人の方へ、松本 孝朗 教授（中京大学 スポーツ科学部 トレーナー学科）をお招きし、「症例から学ぶ熱中症と身体冷却法」について講演していただいた。	スポーツ課
②スポーツへの取り組み意欲を喚起する機会の創出	スポーツ講習会 【再掲（5-(3)-(1)）】	トップアスリートや指導者などを招聘し、スポーツ講習会を開催し、高いレベルで活躍することを目的とすることを目指す子どもがトップレベルの技術に触れる機会を提供する。	・あま市スポーツ協会・あま市スポーツ少年団本部研修会 令和7年10月11日（土）に、スポーツ協会、スポーツ少年団、NPO法人あまスポーツクラブ加盟の総勢59人の方へ、松本 孝朗 教授（中京大学 スポーツ科学部 トレーナー学科）をお招きし、「症例から学ぶ熱中症と身体冷却法」について講演していただいた。	スポーツ課
③地域ぐるみでアスリートを支える仕組みづくり	市民栄誉賞 【再掲（1-(5)-(2)）】	市民または市に特別ゆかりの深い者で、スポーツその他の分野において輝かしい功績があった者に対して市民栄誉賞を授与する。	令和7年度においては、表彰対象となる該当者はなかった。	人事秘書課
	教育、文化、スポーツ関係全国大会等 出場報奨金 【再掲（1-(5)-(2)）】	全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	令和7年12月31日時点での交付実績 ・全国大会(個人)：27件 (135,000円) ・全国大会(団体)：該当なし ・国際大会(個人)：2件 (40,000円) ・国際大会(団体)：該当なし ・世界大会(個人)：該当なし ・世界大会(団体)：該当なし	スポーツ課
	スポーツ顕彰 【再掲（1-(5)-(2)）】	オリンピック・パラリンピック等、国際的なスポーツ競技大会において、優れた成績を収めた方にスポーツ顕彰において栄誉大賞、栄誉賞、功労賞を授与し、スポーツの振興とふるさと意識の高揚を図る。	・あま市スポーツ栄誉大賞 受賞者：加納 虹輝 選手（日本航空株式会社所属） 功 績：2025フェンシング世界選手権大会フェンシング男子エペ個人及び団体金メダル 受賞者：松岡 星空 選手（日本ガイシ株式会社所属） 功 績：Cruyff Foundation Junior Masters車いすテニス 女子シングル1位 ・あま市スポーツ功労賞 受賞者：武藤 弘樹 選手（トヨタ自動車株式会社所属） 功 績：2025 GYEYANG OPEN アーチェリーリカーブ男 出場（決勝トーナメント9位）	スポーツ課

令和7年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目（取組状況）

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組状況	担当課
④ジュニア世代の各種競技大会の支援	教育、文化、スポーツ関係全国大会等 出場報奨金 【再掲（1-5-②）】	競技力・意欲向上を目的に全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	令和7年12月31日時点での交付実績 ・全国大会(個人)：27件（135,000円） ・全国大会(団体)：該当なし ・国際大会(個人)：2件（40,000円） ・国際大会(団体)：該当なし ・世界大会(個人)：該当なし ・世界大会(団体)：該当なし	スポーツ課
⑤スポーツへの関心を高める機会の提供 【再掲 1-(3)-④】	スポーツ観戦事業 【再掲（1-1-⑥）】	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、スポーツ観戦イベントを開催する。	プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力のもと、令和7年12月14日（日）開催の同クラブシーズンマッチ・ホームゲームへ市民100名を無料招待（抽選）した。	スポーツ課